

平成26年度 指定管理者施設管理評価シート

部 教育委員会事務局 課 児童保育課

施設名称 [40] 東京都台東区立池之端児童館

指定管理者の名称 社会福祉法人台東区社会福祉事業団 指定期間 H22.4.1 ~ H27.3.31

1. 指定管理者の概要

(1)業務内容	台東区の児童及び高齢者福祉の充実による区民福祉の向上を図るため、児童館や高齢者福祉施設の管理・運営を行なう。
(2)類似施設の管理実績	児童館7館、15こどもクラブ(平成23年末まで13こどもクラブ)
(3)経営状況	(25年度決算ベース)〔社会福祉事業会計〕 収入2,763,451,917円, 支出2,624,027,474円, 収支差額139,424,443円

2. 施設の概要

(1)所在地	台東区池之端2-3-3
(2)設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とする。
(3)利用者	区内在住の幼児から中学校終了までを主たる対象とする。
(4)開館日・時間	月曜日から土曜日:午前9:30~午後6:00、日曜日(第三日曜日を除く):午前9:30~午後6:00一部開放。 休館日 年末年始、祝祭日(5月5日は開放)
(5)規模	RC3階建て 遊戯室・図書室・音楽室・図工室・こどもクラブ室
(6)人員体制	常勤職員3名、短時間職員4名

3. 事業(サービス提供)の概要

(1)委託事業	児童の福祉を目的とする事業 児童館の利用を通して児童の情操の育成に資する事業 健全な遊びを通して児童の集団的及び個別指導を行なうこと その他、児童館の目的達成のために必要な事業
(2)自主事業	自主事業は行っていない。

4. 予算決算の推移

		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
予算	委託料	31,863,000	37,416,000	31,549,000	29,977,000	32,370,000
	利用料金収入	0	0	0	0	0
	その他収入	0	0	0	0	0
	管理経費	31,863,000	37,418,000	31,549,000	29,977,000	32,370,000
決算	委託料	30,927,035	33,551,534	34,008,595	32,344,574	32,243,512
	利用料金収入	0	0	0	0	0
	その他収入	0	0	0	18,000	421,431
	管理経費	30,927,035	33,551,534	34,008,595	32,362,574	32,664,943
	収支	0	0	0	0	0

5. 施設の稼働状況等(活動指標)

指標名称	単位	22年度	23年度	24年度	25年度
開館日数	日	334	335	334	333

6. 成果指標

指標名称	単位	目標値(27年度)	23年度	24年度	25年度
利用者数	人	32,000	23,901	26,995	31,557

7. 平成25年度評価結果に対する現在までの取組み

乳幼児と小学生の間をつなぐ幼稚園児親子対象の活動を毎週行い、園児親子の居場所づくりに努めた。また、中学生への成長も見越して小学校高学年のやりたいスポーツタイムを実施し、成長を支援した。平日は利用しづらい保育園児や父親参加の活動を行い、土日利用の周知を強化した。民生委員児童委員協議会との共催により、25年度新たに7館合同の下町こどもまつりを実施した。

8. 評価項目
 3：協定等の水準を上回っている。 0：協定等の水準を下回っている。
 2：協定等の水準どおりである。 -：評価対象外項目。
 1：おおむね協定等の水準だが課題がある。

評価の観点	評価項目			
(1)事業の運営 平均 [2.0]	(a)施設の目的達成 [2]	(f)開館時間等の遵守 [2]	(b)サービス水準 [2]	(g)自主事業の成果 [-]
	(c)職員配置 [2]	(h)個人情報保護 [2]	(d)職員研修 [2]	(i)緊急時対応 [2]
	(e)案内・接遇 [2]	(j)警備・防犯体制 [2]		
(2)施設の維持管理 平均 [2.0]	(a)建物保守・設備機器点検 [2]	(e)危険箇所等の確認 [2]	(b)備品の管理 [2]	(f)管理記録の作成・保存 [2]
	(c)清掃・衛生管理 [2]	(g)業務委託の事前承認 [2]	(d)清掃・衛生管理 [2]	(h)省エネ・省資源・環境配慮 [2]
	(d)施設の修繕 [2]			
(3)利用者の満足度 平均 [2.4]	(a)利用者・第三者機関の評価 [3]	(d)利用しやすい環境整備 [2]	(b)苦情・要望への対応と報告 [2]	(e)関係団体・地域との関わり [2]
	(c)利用者数の目標達成 [3]			
(4)収入支出 平均 [2.0]	(a)適正な予算執行 [2]	(c)収支計画の達成 [2]	(b)管理経費の効率化 [2]	(d)利用料等の徴収・管理 [2]

9. 評価
 S（水準以上）：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。
 A（適正）：協定等の水準を満たす管理が行われている。
 B（一部課題あり）：協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。
 C（課題あり）：協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。
 D（水準未滿）：協定等の水準を満たしていない。

評価の観点	評価	説明
(1)事業の運営	A	幼児、園児タイムの充実を図り、乳幼児親子がゆっくり過ごせる環境整備を行った。さらに子ども達のやりたいことについて意見を聞き取り、実現に向けた支援を丁寧に行っている。
(2)施設の維持管理	A	日々の清掃、点検の徹底、速やかな修繕を行い、安全な環境づくりに努めている。
(3)利用者の満足度	S	来館時の挨拶や一人ひとりとの関わりを大切に、トラブルやけがの対応、ニーズへの支援を丁寧に行っている。やりたい遊びや活動が出来ていることから利用者アンケートの満足度は高い。関係機関（保育園、小中学校等）との連携も深めた。
(4)収入支出	A	リサイクルを推進し、消耗品の一括購入、長期契約などの経費節減、事務の効率化を図った。

10. 総合評価 良好 妥当 要努力 要改善 不適

妥当

乳幼児から小学校低学年、高学年へと利用が繋がるように、ニーズの把握、丁寧な対応、使いやすい環境整備を行っている。それぞれの年齢層にとって居心地の良い居場所づくりに努めており、利用者数が増加している。

11. 平成26年度評価結果に対する今後の対応

- ・乳幼児親子から高校生までの幅広い世代が、安心して過ごせる居場所づくりと活動の充実を図る。
- ・小学校高学年や中高生の関心、興味、ニーズに対して柔軟な対応をしていく。
- ・広く地域と関わり、ともに子どもの育ちを考える関係づくりに努めていく。